

2020年度 活動報告

I・高槻の高齢社会をよくする会

[総会]

コロナ禍なので従来の密な総会を取りやめて「みなし総会」を行いました。5月13日(土)付で書面にて「みなし総会案内」及び議案書「2019年度活動報告・決算報告・監査報告、2020年度活動方針・予算案」を会員221名に送付しました。同時に賛否を書いてハガキにて返信をお願いしました。「賛成・反対」の評決文書の送付締め切りを2020年5月23日としましたので、この日を総会の議決があったとみなしました。議案に対して「すべてに賛成」とチェックした人が164名(返信数165名中)と多数ですべての議案は原案通り承認されました。

[運営委員会]

毎月第3土曜日午前の開催を予定していましたが中止も多く、7回(5月、6月、7月、9月、10月、11月、3月)実施しました。17名の委員により年間の諸行事を企画しようとしたのですが、コロナのために残念ながら全て中止となりました。お便りだけはと考慮して2回発行しました。

[理事会]

理事会は3回開催しました。

[井戸端会]

塚原ブロック 塚原集会所 毎月第2火曜日 13:30~15:30 担当 吉田和子
手芸作品を作りながらおしゃべりを楽しんでいます。中止が多く9月、10月、3月と時間を短くして3回だけ開催しました。

南平台ブロック 南平台集会所 毎月第3火曜日 13:30~15:30 担当 中越洋子
コロナ禍で自粛が続くと心身の低下が起こるので、感染予防対策をきっちりして時間短縮で続けたいと努力しました。その結果、6月、7月、9月、10月、11月、12月、3月と7回実施できました。参加人数が少なめでしたがいつものように話が弾んで良かったと思います。

[行事・活動報告]

新型コロナによる緊急事態宣言などがあり、特に高齢者の多い集まりになるために行事の企画を手探りながら検討しました。しかし、結果的に例年実施してきた総会を始め、勉強会やよくする会祭り、映画会など全ての行事を実施することが出来ませんでした。

やはり大人数による密な交流は無理だなとあきらめざるを得なかったことは残念なことでした。

[ありんこの会]

担当 中越洋子 他

利用者数 24 名の依頼を支援者 18 名で担当しました。年間総活動時間は 304 時間でした。利用者数はコロナ禍でもあり前年の 35 名より減りました。一方初めて支援に参加した人は 4 名でした。利用者の半数は一人暮らしの方で、骨折等での入院後の手助けを必要とされた方は 4 名でした。

「よくする会」の歴史も 28 年ですから、当初元気だった方でもサービス利用者になり始めた事を考えると感慨深いものがあります。時間的には将棋の相手、清掃、買い物、庭木の剪定や草取りなどが多く、回数的には定期的なゴミ出しが昨年同様に多くありました。庭の草取りや木の剪定は結構大変で時間もかかるので、複数人で手分けして負担を軽くしました。庭木の剪定ではベテランの支援者がいて、木の種類などで剪定時期を選ぶことで利用者さんの好評を得ています。

[認知症を理解し地域で支える会への支援]

報告 中越 優

毎月第 1 火曜日の定例会(運営委員会)は 8 回開催しましたが、認知症の人と家族のための情報交流と相談会は 7 月と 11 月の予定を実行できませんでした。また介護者のための研修会も開けませんでした。定例会に 4 名の「よくする会」会員が参加し、年度末の 3 月 21 日によろやく相談会を実施しました。チラシをほとんど配布せずに口コミだけで人数を制限しましたが、14 名の参加者と 10 名の支援者が集まりました。コロナ禍で困難な状況にある認知症の人と家族の支援をささやかながら実施できたことは幸いでした。

[ほっこりカフェ氷室への支援]

報告 中越 優

毎月第 4 金曜日の 10 時より氷室町のバプテスト教会にて、認知症の人と家族・支援者が集まり、皆で食事を作って一緒に食べます。しかし、コロナ禍にあって全く実施できませんでした。世話人会は 7 回行いました。食事プログラムは実施困難なため、カフェは午後の一時間だけ、話し合いと簡単な体操などして過ごすことにし、3 回実施出来ました。コロナで家に閉じこもることが増えて人との関わりが減ると、認知症状が進行する恐れがあり、出来るだけ実施したかったのですが残念でした。「よくする会」会員から 5 名の参加がありました。

[よくする会だより]

担当 石田千賀子 他

第 70 号～第 71 号を発行して皆様にお届けしました。

[ホームページ]

アドレス <http://www.hamuro.org>

担当 中越 優 他

NPOは情報公開が命ですので、総会報告はもちろん、各活動の詳しい報告、介護事業つどいの家「はむろ」の紹介や他団体との共同活動まで広報に努めています。しかし、コロナ禍にあって活動を縮小しつつ維持した介護事業を除いて、他の諸活動はほとんど中止されました。その中で「はむろ」の「コロナ委員会」の報告が突出したことは、やむを得なかった現実を表しています。ボランティア活動を中止し、不要不急の外出を避け、従来の密な人間関係を避けるべくテレワークでの作業は孤立感を増しました。そんな中でも「一般財団法人 非営利組織評価センター」より、HPでの情報公開が評価されて引き続き3年間の「ベーシック認証」を頂いたことは良かったことでした。

[2020年度 ご寄付者名（敬称略）]

雨森恂子、岩田久枝、宇都宮清子、大沢正子、片田道子、佐藤あさこ、城月澄子、杉岡静子、高橋多恵、中越優、中越洋子、平田富子、藤岡益子、藤本シゲ子、前川壽、前田吟子、松井史枝、山口茂子、山本洋子、吉田静子、吉原暁子（五十音順）さわやかコーラス、その他多くの匿名の方々。多額の寄付や物品のご寄付も頂いております。たくさんのご寄付ありがとうございました。

「よくする会」の活動が皆さまのご寄付により支えられている事を心より感謝申し上げます。

II・つどいの家「はむろ」活動報告

[事業報告]

担当 吉原暁子

1年を通じて、今まで経験したことのない事が次々に起こった年だったと思います。新年度が始まり、さあこれからみんなで頑張ろうと思った矢先の緊急事態宣言に介護現場は、おそれおののき、どう対処していくのかが問われる毎日でした。

もともと「はむろ」は介護保険の利用者さんをはじめ、街かどの利用者さん、スタッフ、ボランティアさん、よくする会の会員の方々が密になって交流する場であるだけに、とまどいの大きさは推して知るべしでした。

しかしながら、何としても“コロナの陽性者”をだしてはならないとの強い思いのもと、介護保険の利用者の方も最小限、スタッフも最小限の来所にし、消毒や除菌を徹底的に行い、居宅や訪問の事業については、どうしても訪問する必要のある方限定にして、事業を展開してきました。第一波から始まり、第二波、第三波と気持ちの休まる日はありませんでした

収入の減少分については、持続化給付金、家賃補助などの公的援助を申請することで切り抜けることができたと思います。

“みんなで力を合わせて乗り切ろう”という今回の経験が、今後の「はむろ」の事業にとってプラスになってくれたら有り難いと思います。

この苦難の時期に施設長を引き受けて下さった黒柳厚雄さんに深く感謝をしています。今後は黒柳さんを中心に、スタッフが丸一丸となって「はむろ」を盛り立てて行って下さることを切に願っています。

[ボランティア]

担当 丸山けい子 他1名

昨年4月に出された緊急事態宣言より、「はむろ」のボランティアさんすべてに自宅待機をお願いすることになりました。それからもう丸1年が過ぎてしまいました。

その間私たち「はむろ」の職員は、創立以来なんと多くのボランティアの皆さんに助けられてきたことに気付かされ、改めて深く感謝しています。

今年の8月に19歳になる「はむろ」ですが、そのうちの17年以上ボランティアの皆さんにいろんなお力をいただけてきました。日常のボランティアさん、そしていろんな芸や音楽などで訪問して下さったボランティアさんのおかげで、利用者さんはもちろんスタッフもとても楽しませていただきました。

明るく楽しい「はむろ」を共に創り上げていけたのだと改めて感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

これからどんなことになっていくか見通しのつかない毎日が続いていますが、きっと近いうちに又皆さんに来ていただける時がやって来ることを信じて、日々みんなで「今」を乗り越えていこうと思っています。

どうか「はむろ」を忘れないで、再活動していただける日までお元気で待っていただけると嬉しいです。

[街かどデイハウス]

担当 松井史枝 他4名

今年度の活動は、新型コロナウイルスによる、緊急事態宣言発出のため、4月1週目以降はお休みとなりました。

緊急事態宣言が解除された後も、ソーシャルディスタンスをとり安全を保つためには、デイサービスの利用者さんと「街かど」の利用者さんを合わせた人数をかなり少なくしなければならぬこととなりました。

何とか再開しようと試行錯誤していましたが、新型コロナの勢いもおさまらず、コロナ禍での密にならない活動を考えると、自立した活動の出来る「街かど」の皆さんよりも、やはり一人暮らしのデイの利用者さんや認知症の方のご家族の大変さを考慮した上で、デイサービスの利用者の方々の利用を優先するためには、「街かどデイハウス」を閉めるという苦渋の決断となりました。スタッフ全員とても辛い思いの選択でした。

今後は「街かど」の皆様との、今迄からのご縁を大切にしたいと考え、本部事業の活動として、月に1回の交流会を続けていきたいと考えています。

おさまらないコロナ禍のなか、思い通りの活動がなかなか出来ませんが、皆様と集まり笑顔でお話ししたい気持ちでいっぱいです。

「街かどデイハウス」を閉じるにあたり、今までご利用くださった皆様、ご支援くださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

〔地域密着型通所介護（デイサービス）〕

担当 西村照美 他 8 名

今年度は新型コロナウイルスが日本中に広がろうとしている中、感染予防対策（1日3回のテーブル、椅子、食器、トイレ等の消毒）を行いながらのスタートでした。

利用者さんも自主的に休みされる方と、お家で過ごすことのできる方は休んで頂き、緊急事態宣言の間は5～6名の利用者さんだけで利用時間を14：10までとして営業しました。同時に「コロナ対策委員会」を立ち上げました。対策マニュアルを作成し、予防対策強化や、万一感染者が出た場合を想定し、素早い対処が出来る様、月に1～2回の話し合いや勉強会を開いています。

緊急事態宣言が解除された後、5月の最終週からは利用時間を15：10迄とし、利用者人数を少しずつ増やしました。9月からは利用人数もほぼ落ち着いて来ています。

デイサービスの日としては、大きな変わりはありませんが、手洗いとバイタルチェックはより一層強化しています。

一番気を付ける昼食ですが、座席は各テーブル2名ずつ、向き合わない様、全員が南（窓側）を向き飛沫感染を防いでいます。食事前には、ナースが一人ずつアルコールジェルで手の消毒を済ませ、そしてお話をせずに食事をして頂いています。

又、昼休みの個人の楽しみ（習字、ぬり絵、五目並べ）は続けていますが、歌を唄う事は高槻市からの指導のもと自粛していますので、DVDやYouTubeを利用し、四季折々の風景画像や楽しい体操等を楽しんで頂いています。

「はむろ」自慢の手作りケーキ等のおやつはマスクを長時間外すことになりませんので、お茶、又はジュースのみとさせて頂き、利用時間も15：10とさせて頂いております。

「はむろ」から楽しい歌声が聞こえ、安心して過ごせる日々が一日も早く戻ってくれる事をスタッフ一同願っている毎日です。

〔訪問介護（ヘルパー派遣）〕

担当 黒柳秀子他 9 名

2020年度はコロナ禍での感染予防対策に努めました。

利用者様にはヘルパーがサービスに入る前に体温を測っていただく。

・サービス中利用者様はマスクをつけていただく。

※体温が37度以上あるときは、黒柳に連絡して頂き、当日のサービスは休みとさせて頂き、その後の事は黒柳が利用者様に連絡させて頂く。

ヘルパーには・サービスに入る前に体温を測り、メールで黒柳に連絡する。

・サービス中はマスクをつける。

・利用者様とは距離を置く。

※体温が37度以上あるときはその日のサービスは休み、その後のことについては黒柳が対応する。上記のコロナ感染予防対策をして以降、利用者様、ヘルパーともにコロナ感染はなく、無事に終えることができました。

残念ながらご報告ですが、2021年の3月で、はむろの訪問事業所を閉じました。後継者不足とヘルパーの高齢化が主な原因です。長い間地域の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

尚、はむろのデイサービスとケアマネの居宅は今まで通り続けていますので、ご利用宜しく申し上げます。

[たすきの会]

買い物援助でお2人がご利用されました。 担当 黒柳秀子 他9名

[居宅介護支援(ケアプランセンター)]

担当 不破直子 他2名

現在、3名のケアマネジャーで約50名の利用者様を支援しています。

新型コロナウイルスにより、自粛生活を余儀なくされていることから、運動不足・生活にメリハリがない事からの意欲低下等がみられます。

今後も訪問や電話で様子をお伺いし、困り事や不安に思っていることを一緒に解決できるように支援の継続を行っていきます。

2021年4月より3年に1度の介護保険制度の改定がありご利用者・ご家族にはご負担をお掛けする事が多くなっています。より良いサービスを利用させていただくためにも私たちケアマネジャーがご利用者一人一人の課題を考えて、目標達成に近づけるようお手伝いさせていただきます。

大変な時期ではありますが、皆さんと一緒にコロナを乗り越えていきたいと思っております。

[スタッフ会議]

管理者ミーティング 毎月第3木曜日

スタッフミーティング 毎月最終金曜日
デイサービス及び街かどデイハウス、居宅介護支援と事務のスタッフ、訪問介護の常勤者が参加。情報交換や研修を行い、最終意志決定機関となっている。

ヘルパーミーティング 毎月第4木曜日 ケースカンファレンスや研修を随時実施

デイミーティング 毎月第2金曜日

プログラムミーティング 毎月1回(不定期)

ケアマネミーティング 毎月1回(不定期)

ナースミーティング 毎月第2火曜日

メニュー会議 「いきいき会」と年2回程度昼食メニューの検討

その他、コロナ対策委員会、訪問ケースカンファレンス、送迎ミーティングなどを随時行った。